記入例(通学形態変更届)

提出前に記入漏れや誤記入がないか確認のうえ、 記入後は速やかにご提出ください。

③奨学生番号

奨学生番号が発行されている場合は必ず記入 してください。

奨学生番号を記入する場合は(4)、(5)の記入は 不要です。

⑥自宅外への入居日

- ・転居と同時に自宅外通学の要件を満たす場合は 転居日を記入してください。
- ・転居を伴わずに自宅外通学の要件を満たした場 合は自宅外通学の要件を満たした日を記入してく ださい。(例:同居していた生計維持者が転居し た場合は、一人暮らしになった日。)

7契約期間

- ・賃貸借契約書に記載された契約期間を記入して ください。
- ・契約期限が切れている場合は更新後の契約期間 を記入し、契約期間を更新したことのわかる書類 も併せてご提出ください。

⑧家賃・寮費発生年月日

- ・契約の開始日から家賃が発生している場合は契 約の開始日を記入してください。
- ・契約に特約があり、契約開始日より後に家賃が 発生している場合は実際に家賃が発生し始めた年 月日を記入してください。
- ・同居していた生計維持者の転居により自宅外要 件を満たす場合は、自宅外通学の要件を満たした 日を記入してください(⑥と同様)。

9自宅外住所

・賃貸借契約書や入寮証明書に記載された住所を 記入してください。

[給付様式35]

诵学形態変更届(自宅外诵学)

奨学生・予約採用候補者→学校 →自宅外センター

独立行政法人 日本学生支授機構理事長 殿

				生年月日	新20 25 香20 07	年 4月21日 年10月 1日	
、太枠線内は正確に、もれなく記入し、学校に提出してください。 未配入の場合は不備返送となり	学籍番号	202411					
学校名 日本学生支援機構大学	学年	1	年	2 氏名	-	育英 友 一	
学部·学科 (課程·研究科)	74			(自署)		4 大 及	
③ 奨 学 生 番 号 4 採用候補者決定通知登録番						5 進学届入力	日
5 2 0 0 4 0 0 1 1 1 1 XI						月	∃<

■ 週子形版表史 日七	5週子 → 日宅外週子							
自宅外通学要件 「自宅外通学要件確認チャート」を確認し、以下の「対象区分」に該当することを確認								
及び提出書類の確認	(該当する「対象区分」に図を記入し、証明書類を添付): □ A □ B □ C □ D ■ E □ F □ G							
6 自宅外への入居日	西暦 2 0 25 年 3 月 25 日 入居 →入居月(または採用決定月)から提出日(注1)まで3カ月以内→入居日の属する月が変更始期(注2)							
日七八八四八居日	四個 2 0 23 年 3 月 23 日							
7契約期間	西暦20 25 年 3 月 25 日 ~ 西暦20 27 年 3 月 24 日							
~	27 - 1 - 27 - 1 - 27 - 27 - 27 - 27 - 27							
8 家賃・寮費発生年月日 (注3)	西 2 0 25 年 3 月 25 日 いずれかに該当する場合図を記入							
(100-)	□ 住所変更はないが左に記載の年月日から自宅外要件に該当							
9 自宅外住所	T 1 5 3 - 8 5 0 3							
H G/TEDI	東京都目黒区駒場4-5-29 駒場マンション 3階 301号							
110	生計維持者 (統柄: 文) 〒543-0001							
生計維持者① (現住所)	氏名: 育英 太郎 大阪奋大阪市天王寺已上本町8-3-13							
40	生計維持者 (統柄: 母) 〒543-0001							
生計維持者② (現住所)								
	氏名 : 育英 花子 大阪府大阪市天王寺已上本町8-3-13							
①キャンパス住所	T 1 6 2 - 8 4 1 2							
	東京都新宿区市谷本村町 10-7 JASSO 市ヶ谷							
自宅外要件	下記①~④に当てはまるかどうか☑を記入してください。 ①~④に当てはまらず特別な理由がある場合は、⑥その他の詳細欄に記入をしてください。							
⑤その他やむを得ない特別 な事情を選択する場合	①実家から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上(目安)							
1. ①~④に当てはまらない 場合は学業との関連で実家	で実家事由を ② 東京から大学等までの通学費が日1万円以上(日午)							
からの通学が困難な事由を 詳細欄に記入してください。								
2. 入寮義務がある場合は、 ⑤の詳細に"入寮義務有"と								
⑤の詳細に"人奈義務有"と 記入してください。	⑤その他やむを得ない特別な事 詳細:							
	情							
(注1)自定が運営に反え転用書	類が学校に提出された日(様式方上「提出日」)とかります。							

- ・第一種奨学金の貸与月額については、法令等の規程に基づき増額又は減額(複数あるときは機構の定める額)にします。
- 選択可能な月額に変更したい場合は、第一種奨学金貸与月額変更願(届)(貸与様式2-1又は貸与様式2-2)で顧(届)出てください。
- ・通学形態変更による第一種奨学金貸与月額の増額に伴い、第一種奨学金の「変更後の借用金額「予定・総額」」が返還誓約書に印字の借用金額を上回る場合は、後日、「貸与奨学金増額同意書」の

提出が必要になります。(学校を通じてお渡しします。)

上記記載のとおり相違ないことを証明します。

(学校の証明)

20 25 年

4 月 2.2 ⊞

学 校 名 日本学生支援機構大学

関係課長(※) 支援 次郎

自宅外通学に係る証明書類の添付が必要です。

電話番号(担当者名)		学校番号						区分	
03 - 6743 - 000	9	9	9	9	9	9	0	1	
(支援 三郎)									

別紙「自宅外通学要件確認チャート」のいずれかの「対象区分」に該当することを確認し、該当する

「提出書類」を本届にホチキス留めして提出してください。 ※提出された書類は返却しません。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内におい で、当該情報(快学会の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機能、文部科学名及び業務委託告に必要に応じて物色されますが、その他の目的には利用されません。機関除起加入者については、機構が係有する個人情報の分尾報告書の上述を受け精神が発展機能に提供されているたなで情報が振りませた。大学会の重要を決定するというできない。

①提出日

・奨学生が学校へ提出した日を記入してください。

②氏名

- 氏名は必ず奨学生ご自身で記入してください。
- ・機構に登録されている氏名表記で記入してください。
- (アルファベット表記不可)

④採用候補者決定通知登録番号

⑤進学届入力日

- ・進学する前に進学予定の学校を通じて提出する場合 は④を記入してください。
- ・進学した後、進学届を入力後に提出する場合は40、 ⑤ともに記入してください。

⑩生計維持者(現住所)

- ・奨学生番号がない場合は、進学届で届け出た(又は届 け出る予定の) 生計維持者を記入してください。
- ・**奨学生番号がある**場合は、以下の①~③のいずれかの
- うち最も直近に届け出た生計維持者を記入してください。
- ①進学届(当年度の予約採用者が該当)
- ②スカラネット(当年度の在学採用者が該当)
- ③在籍報告(昨年度以前の採用者が該当)
- ・機構に届出済の生計維持者が記入されていない場合は 不備になります。
- ・生計維持者の住所は自宅外通学申請時点の住所を記入 してください。機構に届出済の住所と相違していても構 いません。
- ・機構に登録されている氏名表記で記入してください。 (アルファベット表記不可)

√⑪キャンパス住所

- ・主に通学しているキャンパス住所を記入してください。
- ・通学しているキャンパスが複数ある場合は週の半分以 上通学しているキャンパスを記入してください。
- ・未記入は不備となります。

12自宅外要件

- ①~④のいずれかに当てはまるものに√を記入してく
- ・①~④に当てはまらない場合は学業に関連したやむを 得ない事中があれば(5)詳細欄に記入してください。 学業に関連した事由でない場合は自宅外通学は認められ
- ・独立生計維持者は⑤詳細欄に独立生計維持者である旨 を記入してください。
- ・社会的養護の必要な者として採用された者は⑤詳細欄 に社会的養護の必要なものである旨を記入してください。